

平成29年12月22日

鉄道局総務課

平成28年度 鉄道係員に対する暴力行為の実態調査結果について

平成28年度における鉄道係員に対する暴力行為の発生件数は全国で825件（対前年度比48件の減少。6割以上の加害者が飲酒有り。）

鉄道係員に対する暴力行為は、鉄道の安全確保や利用者への良質な鉄道輸送サービスの提供に影響を与えるおそれがあります。また、近年、鉄道係員に対する暴力行為に関する意識が高まっています。

これらを踏まえ、国土交通省では、平成25年度[※]より、全鉄軌道事業者を対象として、その実態を把握するための調査を実施しております。

調査の結果、平成28年度における鉄道係員に対する暴力行為の発生件数は全国で825件となり、平成27年度の873件から48件の減少となりました。

平成27年度に引き続き、暴力行為の発生件数は減少いたしましたが、暴力行為の撲滅に向けて、今後とも警察等関係者と連携し、広報啓発活動等の取組みを進めて参ります。

[※]調査対象は前年度の発生件数等

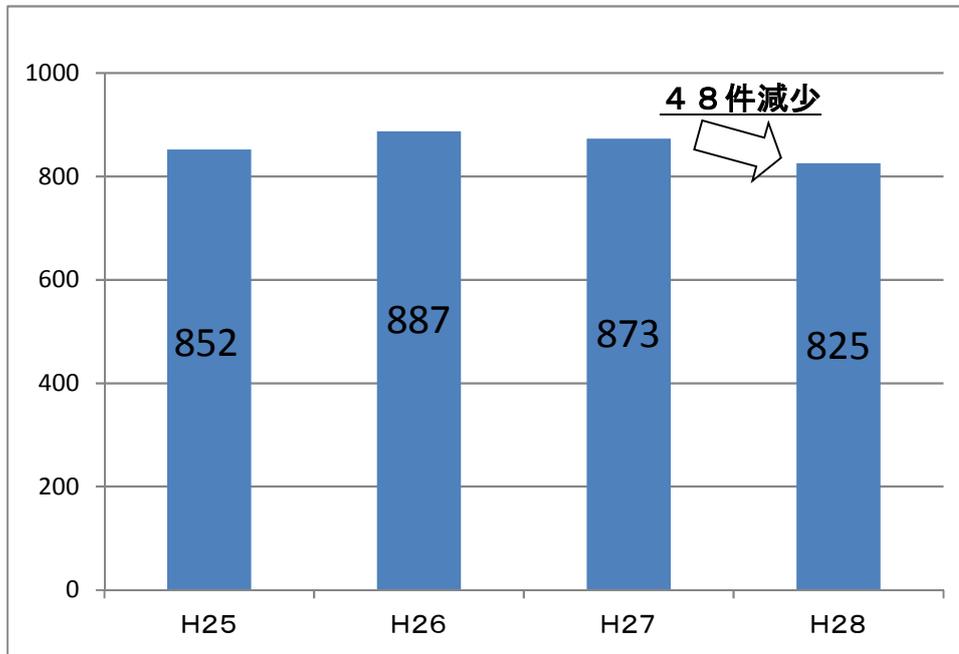
（別紙1）鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（平成28年度）

（別紙2）鉄道係員に対する暴力行為の主な事例・取組み（平成28年度）

連絡先：鉄道局総務課鉄道サービス政策室 尾崎、鈴木、山崎
代 表：03-5253-8111（内線：40624、40633）
直 通：03-5253-8542 FAX：03-5253-1633

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（平成28年度）

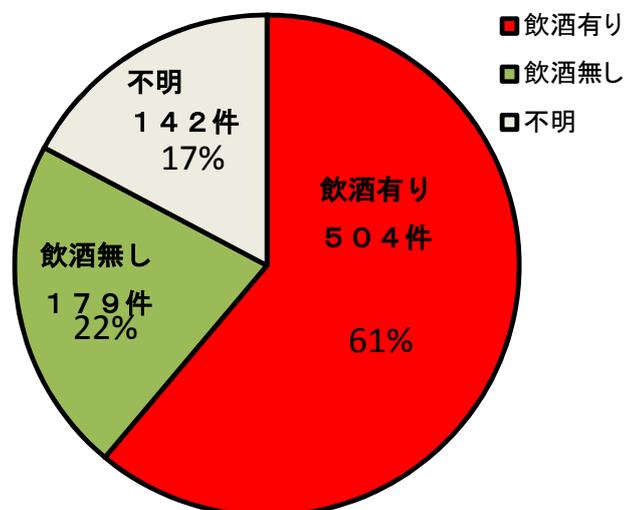
○平成28年度 全国鉄道軌道事業者 計 825件



○加害者の飲酒の有無

少なくとも6割以上の加害者が飲酒有り

※飲酒が判別できないものは不明（2割）に含む

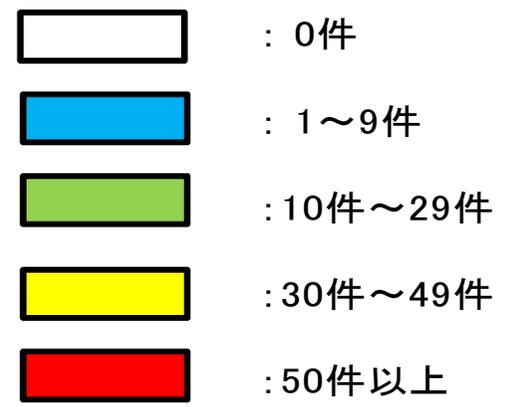
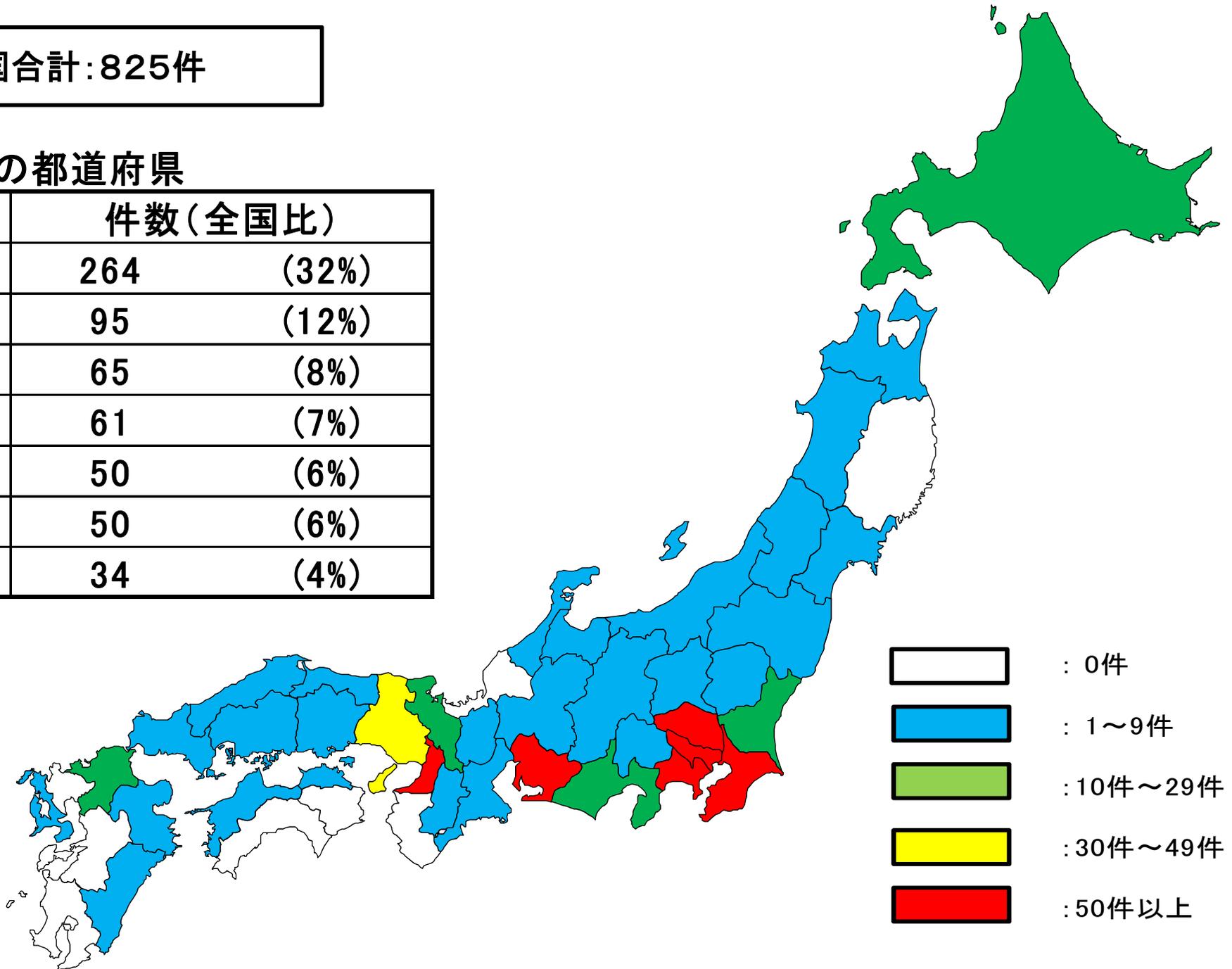


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況(都道府県別・平成28年度)

全国合計:825件

○30件以上の都道府県

都道府県	件数(全国比)
東京都	264 (32%)
神奈川県	95 (12%)
大阪府	65 (8%)
埼玉県	61 (7%)
千葉県	50 (6%)
愛知県	50 (6%)
兵庫県	34 (4%)



鉄道係員に対する暴力行為の発生状況
(都道府県別:平成28年度)

都道府県名	件数	
北海道	17	(9)
青森県	1	(1)
岩手県	0	(0)
宮城県	7	(6)
秋田県	1	(0)
山形県	2	(1)
福島県	2	(2)
茨城県	10	(4)
栃木県	1	(1)
群馬県	4	(2)
埼玉県	61	(44)
千葉県	50	(18)
東京都	264	(200)
神奈川県	95	(54)
新潟県	3	(2)
富山県	3	(2)
石川県	2	(1)
福井県	0	(0)
山梨県	3	(1)
長野県	6	(3)
岐阜県	7	(5)
静岡県	21	(16)
愛知県	50	(33)
三重県	5	(3)

都道府県名	件数	
滋賀県	6	(3)
京都府	24	(12)
大阪府	65	(40)
兵庫県	34	(12)
奈良県	6	(0)
和歌山県	0	(0)
鳥取県	1	(0)
島根県	1	(1)
岡山県	2	(1)
広島県	7	(0)
山口県	1	(0)
徳島県	0	(0)
香川県	5	(0)
愛媛県	1	(1)
高知県	0	(0)
福岡県	19	(11)
佐賀県	0	(0)
長崎県	3	(1)
熊本県	0	(0)
大分県	1	(1)
宮崎県	1	(1)
鹿児島県	0	(0)
沖縄県	0	(0)
全国合計	825	(516)

※ 暴力行為の発生件数は、唾かけ行為なども含めて幅広く集計しており、このうち、()内は警察へ届け出た件数である。

※ 全国合計の件数には、列車内で発生し都道府県別の計上ができない33件を含むため、合計が合わない。

鉄道係員に対する暴力行為の主な事例及び抑止に関する取組みについて(平成28年度)

1. 暴力行為の主な事例

月日	6月30日	曜日	木曜日	時間帯	22時00分
場所	駅構内	加害者の年齢	50代	飲酒の有無	有
<p>駅係員が改札窓口横のガラスを蹴っていた53歳男性酔客に対し、おやめいただくようお願いしたところ激高し、飛び掛るように右拳で右胸あたりを殴打した。 (レントゲン、CT検査の結果異常なし) 加害者は警察に連行された。</p>					

月日	10月30日	曜日	土曜日	時間帯	13時台
場所	改札	加害者の年齢	54歳	飲酒の有無	無
<p>改札出場時PASMO定期券が反応しない旅客(男性)を駅係員が発見した為、お詫びをし定期券の再発行をご案内したところ、旅客(男性)が突然激高し、駅係員の首元あたりを殴打した。(頸椎捻挫 全治2週間) 加害者は警察に連行された。警察に被害届を提出。</p>					

月日	12月4日	曜日	日曜日	時間帯	11時55分
場所	特急券発売窓口前	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	無
<p>コンシェルジュが特急券発売窓口前でご案内していたところ、旅客から特急券の購入について問い合わせを受け、窓口に並んでいただくようにご案内したところ突然、怒鳴りながら左腕を強く掴まれた。その後、駅係員に応援を求めその場に戻ると加害者は見当たらなかった。</p>					

月日	12月28日	曜日	水曜日	時間帯	23時33分頃
場所	券売機前	加害者の年齢	40代	飲酒の有無	有
<p>券売機前にて旅客(女性)が寝ていると申告を受け、駆けつけた駅係員(女性)が行き先を尋ねて案内をしていたところ、突然駅係員の顔面を殴打および足蹴りをした。 加害者は駆けつけた警察官に暴行罪の疑いで連行された。</p>					

月日	2月20日	曜日	月曜日	時間帯	22時台
場所	ホーム	加害者の年齢	60代	飲酒の有無	有
<p>ホームにて、旅客案内中の駅係員が、到着した列車から降りてきた旅客(男性)から、いきなり「ふざけんなよ」と言われ、左こめかみ付近を殴打された。当日はこの暴力行為の約1時間前に人身事故が発生しダイヤが乱れていた。(頭部外傷、全治3日間。) 加害者は警察に連行された。</p>					

月日	2月26日	曜日	日曜日	時間帯	0時台
場所	ホーム	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	有
<p>ホームにおいて酩酊状態で女性と揉めていた旅客(男性)に、駅係員が状況確認をおこなったところ、突然胸ぐらを掴まれ左頬を殴られた。駅事務室へ移動後も、同駅係員に左足を蹴るなどの暴行を行った(2週間の加療)。 加害者は駅係員からの通報により駆け付けた警察に現行犯逮捕された。</p>					

2. 暴力行為の抑止に関する鉄道事業者の主な取組み

- ① 警察官と連携した巡回・ガードマンによる巡回の実施
- ② 所轄の警察署に依頼し、教習等で護身術訓練に参加
- ③ 教習用の第三者行為災害防止DVDを作成し、社員研修等で使用
- ④ ターミナル駅における「粗暴事犯防止(撲滅)キャンペーン」に参加
- ⑤ 暴力行為防止ポスターの掲出等の啓発活動
- ⑥ 防犯カメラ作動中のステッカーの貼付
- ⑦ 刺叉、防犯ブザー、防犯スプレー等の防犯グッズの配備
- ⑧ 負荷により外れるネクタイの着用